



“さくら パンジー チューリップ ツマグロヒヨウモン しんぶんし”

理事長 高杉 洋史



さくらとチューリップはタイミングよく咲いてもらうのが難しい花で、卒園式にはまだ固い蕾で、入園式には花盛りをすぎしてしまうのが例年です。2022年は卒園式を待つかのようにさくらんぼの花が一斉に咲き、チューリップも早い蕾が何輪か咲いてくれました。さくらんぼの花はソメイヨシノに比べれば地味ですが、入園式の頃には小さくて緑色の実ができるはずで、5月の連休の頃、色づいて食べ頃になるのですがそれを待たずにままごと遊びの材料になります。子どもたちにも小鳥たちにも大人気のさくらんぼです。

入園式の頃のパンジーは花盛りで、お母さんのもとにも子どもたちからかわいい花束が届くことでしょう。そろそろツマグロヒヨウモンという名前の蝶が飛び始め、これまた可愛い幼虫が歩きはじめます。4月下旬から6月にかけて虫好きな子どもたちはせつせと飼育を開始します。パンジーやビオラは可愛く美しく色鮮やかなので園児の花摘みのために植えているのですが、ツマグロヒヨウモンの餌としての役目も大きいのです。虫が好きでない方は目をつむって、大目に見てください。サナギになるとほとんど動かなくなり、体側に金色の模様がで、なかなか美しいです。虫なのに金属光沢のピカピカの金色です。子どもたちは幼虫からサナギに変身し蝶の姿に変わるまでじーっと一ヶ月近く眺めています。不思議なんですよ。大人にとっても不思議です。

特にサナギの間は餌も食べなければ水も飲まないし、虫かこの天井にぶら下がっているだけなのですが、つつけば『やいや』をするように動かし、羽化したら大変身だし。

タイトルに「しんぶんし」の話が唐突に出てくるのには訳があります。玄海ゆりの樹幼稚園は今年度で、宗像市立玄海幼稚園、玄海東幼稚園を引き継いで15年目が始まります。ツマグロヒヨウモンの飼育や「しんぶんし」で剣を作る遊びはその頃から子どもたちに伝わってきた遊びなのです。しっかりと剣にするには端から丁寧に巻く必要があり、それなりの練習がいるのですが、見様見真似で上手になっていきます。

ところで、幼稚園の先生の中にも虫が苦手な先生はもちろんいます。でも大丈夫なんです。クラスの中には何人か虫博士がいて、その子達が何かから何までやってくれます。今年度も虫の世話をはじめ子どもたちにお手伝いをしてもらうことはたくさんあります。可愛い助手たちの活躍に期待しています。ところでところで新聞紙をひらがなで「しんぶんし」と書いたのはなぜでしょう。ああ年度初めから蛇足で終わりました。ではまた。



ご入園・ご入会・ご進級 おめでとうございます

～コロナ禍が教えてくれたこと～



園長 高杉 美稚子

新しい令和四年度が始まりました。春爛漫、私が一番大好きな季節の到来です。新しい園児、進級生、保護者の皆さま、職員と年度末にいい一年だったと振り返りたれる一年にしたいと思います。

春の代名詞、私は桜の花が大好きです。一輪でも凛として美しく、たくさん集まった桜の樹々は更に艶やかです。チーム皆でやり遂げるような集団美の美しさがあります。一年間、ずっと根を張り、力を秘め、日頃はどこに咲いているかわからないくらい目立たないのに、ここぞというときに咲き誇って、きちんと自分を主張できる。そして、見事に散っていく。

別れと出会いを繰り返す春、どんなに寂しくても必ず毎年咲いてくれる。どんなに嬉しくても潔く散っていく桜。風、見るピンク色の可愛らしさ、華やかさ、艶やかさと共に夜の光に妖艶に、神秘的に輝いて変身する桜・・・一輪でも美しく、集団でも美しいゆりの樹集団でありたい、こんな桜のような生き方をしたいものだ。今年の幼稚園の桜を見上げながら思います。さて、コロナ禍になって三年目を迎えます。コロナ禍の二年間は、辛い、悲しいことも多くありましたが学びの多い毎日でもありました。令和四年度も置かれた場所で、桜の生きざまのように園児、保護者の方と共に集団美の華を咲かせるように生きていきましょ。

ゆりの樹幼稚園の経営者下記のようなものがあります。二つだけ紹介します。

「人生に失敗はない」

ピンチはチャンス。学びと再チャレンジがあるのみ。失敗したことはチャレンジした勇気の証拠。

「コロナ禍にあって、その時々で状況は変わります。その状況に合わせて、変化を恐れず、チャレンジしていくことの大切さを学びました。まさに、ピンチは成長するためのチャンス。過去に後悔し、未来を不安に

思つのではなく、過去に学び、不安を小さな目標に変えて「できないことを嘆くのではなく、今、できることをできることから再チャレンジあるのみ」でした。もったいなくした方がよかったと思うこともありましたが、その時は、チャレンジした勇気の証拠、そのことを受け止め、そこに留まらず、更にどうしたらよいか、別のアクションプランを毎日、毎日、考え抜き、積み重ねていきました。そして無事、すべての行事を終え、卒園式で園児たちを笑顔で送り出すことができ、新年度を元気で迎えられたと思います。

「人生は二つの道は選べない」

「Never give up」諦めない事。そして、一生懸命頑張ったならば、諦めてもいい。手放す事、行動しない事も二つの行動。別の道を選べばいい。その上で、とった行動、選んだ道が良かったと思つ生き方をすればいい。

この二年間、次に大切にしていたことは、諦めないことでした。保護者の方が応援したいというその夢をかなえてあげたいとクラス別にして全て実施した行事、何としてもいかせてあげたいと最後まで、何度も計画を練り直した卒園旅行。これが出来なければ、とこのことに執着するのではなく、頑張っても無理だったら、腹をへちめて別の道を歩むことを実行する、の繰り返しでした。

そして、時代は変わり、この通信もついに配信形式となりました。携帯で読みやすいように、一ページに絞めることになりました。不定期にその都度、書いていくように思っています。子育てのアドバイスは今までに多く掲載してきましたので、どうぞ、ホームページの私のページに入って頂ければ過去の分を読めますので、毎回楽しみにして下さった方はそちらもご覧下さると嬉しいです。